

「福祉・介護職員等処遇改善加算」の見える化について

社会福祉法人そら
理事長 丸野恵美子

当法人は全事業所で「福祉・介護職員等処遇改善加算Ⅰ」を算定しています。

福祉・介護職員等処遇改善加算には「職場環境要件等」が下記の「区分・内容」で示されているため、当法人の取り組み状況を『見える化』するために、ここに公表します。

区分	内容	当法人の取り組み
入職促進に向けた取り組み	・事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	<p>■内部・外部への求人の際に、業種にこだわらず歓迎することを明言し、幅広い職種からの採用を行っています。</p> <p>■スタッフ全員が活躍できるよう、入職時からベテランに至るまで、事業所と本部が連携して、一人一人にあった育成・配置を考えています。特に初心者には自信をもって働けるように採用時研修を行っています。</p>
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	<p>■精神保健福祉士、サービス管理責任者研修等の資格取得のための受験料を事業所が負担します。</p>
両立支援・多様な働き方の推進	<p>・子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実</p> <p>・職員の事情等の状況に応じた勤務シフト</p> <p>・有休休暇が取得しやすい環境の整備</p>	<p>■育児休暇、産休、介護休暇など制度として設けており、利用しやすく普及しています。</p> <p>■スタッフの様々な事情に備え、常に柔軟なシフト調整ができるように全員が協力しあっています。</p> <p>■有休休暇が取れやすいよう、柔軟なシフト調整が行えるような体制となっています。</p>
腰痛を含む心身の健康管理	・雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	<p>■法令順守・ハラスメント研修などを行うことで、雇用者間のトラブルが無いように努めています。</p> <p>■健康診断の実施、職員休憩室の確保、ストレスチェックなどの実施等</p> <p>■健康に配慮して、柔軟に仕事の調整を行っています。</p>
生産性向上のための業務改善の取組	<p>・タブレット端末やインカム等のICT活用による業務量の縮減</p> <p>・高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳</p>	<p>■諸記録の記入・保管の電子化を推進し、業務の負担の軽減を図っています。</p> <p>■高齢者に配慮した業務の調整、役割分担を行っています。</p>
やりがい・働きがいの醸成	<p>・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善</p> <p>・利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供</p>	<p>■毎日のスタッフ間のミーティング、毎月の理事長・管理者・本部との会議を持ち、様々な問題についてみんなで解決し、良いアイデアは積極的に採用するように心がけています。</p> <p>■事業所に理念を掲示することで理念の浸透を図っています。</p>